



干し柿試作中 (11/27)

生態園 NEWS Letter

No 200 ついに200! 2020/12

NPO法人
茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局



Tel : 045-945-0816
E-mail seitaien@ybb.ne.jp
URL <https://www.seitaien.com/>

【昆虫】



【ヒメハサミツノカメムシ】

オスのハサミ状の一对の赤い突起は八の字型に広がり、濃緑色の綺麗なカメムシです。(11/8)

【クロマルエンマコガネ♀】

聞こえは余りよくありませんが、俗に糞虫（ふんちゅう）と呼ばれる仲間です。(11/13)



【ニトベエダシャク】

11月に出現し、「冬の到来」を告げる代表的なガの一種です。(11/22)



【ムネアカオオクロテントウ】

2016年頃に台湾や東南アジア等から日本に入ってきた外来種で、分布を拡大中のようにです。(11/7)

写真・文：山村靖男

好評の植物ガイドブック

「ようこそ生態園へ

秋の花 9-12月」 発行！

生態園の植物グループ（園内の植生調査をしてくださっているボランティアの皆さん）による植物ガイドブック「秋の花 9-12月」が発刊されました。春、初夏、夏に続く秋の花、こちらで最終刊となります。キク科やタデ科をはじめとする秋に見られる花々が紹介されています。是非、4冊揃えて、四季折々の散策のお供にどうぞ♪



タヌキとアライグマ 夜の生態園に現る！

10月から、東京都市大学3年のY.I.さんが、アライグマやハクビシン等の生息実態調査のために、御手洗池とカエル池の岸際にセンサーカメラ（夜間、赤外線で動きを感知したら動画撮影を開始する）を仕掛けていました。11月初旬にデータを確認したところ、アライグマとハクビシンが映っていたと、貴重な動画をご提供いただきました。許可をいただき、動画から切り取った画像を載せました↓

先月のNL記事のように、タヌキに関しては田んぼに足跡があったため、いることはわかっていましたが、2匹映っている動画もありました（もこもこが2匹連なって歩いている動画をこの紙面ではお見せできないのが残念!）。また、アライグマは、ここ最近では来ている証拠がなかったので、カメラに写っていてびっくり！アライグマは特定外来生物で、園内の生きものの食害等影響を及ぼす可能性があるため、いることは決して良いことではないのですが、夜の園内で、人知れず獣たちが走り回っていたことが垣間見え、とても興味深く感じました。（画像：Y.I.さん 文：赤木）



タヌキ（御手洗池 田んぼ水路流入口 10/10）



アライグマ（カエル池 10/20）

【11月のイベント・作業レポート】

かいぼり (11/7)

水を抜いて沿岸の底を露出させた御手洗池で、泥のかき出し作業を行いました。今回はコロナ渦のため関係者のみでの作業でしたが、ほぼ全周の沿岸で作業できました。かき出した泥は、栄養の還元を兼ねて、田んぼに入れました。また、島の土留め工事も行いました。水を戻したら、池の水がかなりきれいになり、透視度も上がりました！



脱穀 (11/14)

好天のもとでの脱穀！足踏み脱穀機で稲から粃を取り、次に唐箕でワラ屑や粃殻を除去。今年は感染症の影響で餅つきがないのでみんなでの作業はここまで。粃摺り精米は後日農協で行いました。

写真：中村昌弘



クリスマスリース 作り試行(11/21)



園内で、枯枝や枯葉、木の実などを拾い集め、クリスマス飾りを作りました。クリスマス飾りと言えば輪っかですが、固定概念に捉われずに、素材を生かして個々のイメージで創作しました。来年は一般参加のイベントで開催予定です。



写真：中村昌弘

【1月までのイベント・作業】

詳細・お申込み・開催可否の確認はwebで♪

日時	活動	内容	対象
12/19(土)、27(日) 10:00~12:00	保全(作業)	ササ刈り・低木刈り等〈荒天中止〉 ＊軽食なし・飲み物は各自用意	おとな 小学生は親子
12/19(土) 10:00~14:30	想ネイチャークラフト 野外教室	木の実・草の実など使って自由に動物 などを作ります〈雨天中止〉	こども～
12/29(火)~1/3(日)	年末年始休業		
1/7(木) 9:30~11:30	草刈りボランティア (作業)	平日の園内で和やかな雰囲気ですササ刈りを行います〈荒天中止〉	おとな
1/29(金) 10:00~11:30	親子自然遊び たき火で焼きいも	たき火で焼き芋をしたり、冬の林を散歩 します〈雨天翌週〉	未就学児親子

！いずれのイベントも、新型コロナ感染拡大状況により直前でも中止となる場合がございます。

【年末のご挨拶】

2020年も早いもので残り僅かとなりました。今年は新型コロナの流行により、里山の維持管理作業、イベントの開催を縮小、または中止にする等、思うような活動ができない期間が続きました。さらに、夏は多雨にも作業を阻まれ、ササが例年以上に生い茂るようになってしまいました。緊急事態宣言が出ている間、藪で覆われ、イベント等の楽しみもご提供できない生態園から、人の手が離れて行ってしまうのではないかと心配もありました。

しかし、緊急事態宣言解除後、多くのボランティアの方々が再び作業にご参加くださるようになりました。おかげさまで、スタッフだけではとても対処しきれなかった里山の維持管理作業をこなすことができました。御手洗池のかいぼりという一大作業も、無事行うことができました。さらに、11月からは、平日(第1木曜日)にも複数名のサポーターの方々がボランティアで草刈りに来てくださるようになりました。こんな世の中で、里山保全のボランティア活動にこんなにも多くの方がご協力くださると、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

そして、イベントでは、子どももおとなも感染防止対策に積極的にご協力くださり、講師の方には少人数相手でもいつも通り、温かくご指導をいただきました。皆様の快いご協力もあり、作業・イベントの参加者、来園者、スタッフから罹患者の情報は今のところなく、安全な管理運営ができました。労いや応援のお言葉もたくさんいただきました。

この場を借りて、皆さまに厚く御礼を申し上げます。来年も、生態園の活動を温かく見守っていただけましたら幸いです。長くなりましたが、よい年末をお迎えください。

赤木